

Labo News

らぼニュース

会長就任にあたって

会長 相山 広美

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電話 052-581-1013
FAX 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
普通口座731-677
発行人 松本 祐之
編集人 山田 真

No.388 目次

- ◆第15回医学検査学会報告 …………… (2)
- ◆訃報…………… (5)
- ◆「世界禁煙デー」
街頭キャンペーンに参加して…………… (5)
- ◆第12回スキルアップ講習会のご案内 … (6)
- ◆第13回西三河がんフォーラム …………… (7)
- ◆第32回愛臨技東三河地区
研究会開催について…………… (7)
- ◆研究会…………… (7)
- ◆AICCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
通信 (第29回) …………… (8)

6月28日の定時総会で承認され、引き続き開催された理事会において代表理事に選任いただき、前期会長松本祐之氏の後を引き継ぐことになりました相山広美です。また、同総会において理事21名と監事2名を承認いただきました。

今期は、9名の理事が新しく就任し、12名の理事と2名の監事は重任で、平成28年度定時総会終了まで任期を務めることとなります。そして、松本祐之氏には顧問に就任していただきました。

私は、技師会役員に就任して以来、3名の歴代会長の下で技師会活動の経験を積むことができ、また平成20年から4年間は、日本臨床衛生検査技師会の理事を務めてきました。この貴重な経験を活かし、これまでの愛臨技事業を尊重しつつ、さらに継続推進していきたいと思えます。また、公益社団法人となり理事の責任も大きくなりました。各理事、各部門間においてしっかりと連携をとっていきます。

今年度の運営方針としては、平成26年度の事業計画に沿って前体制の事業を継続していきます。また、公益社団法人として一年が経ち、法人として整備する事項が明確になってきました。適切な法人運営に努めるとともに組織の強化も図っていきます。新たな取り組みとして、「検査説明・相談のできる技師育成」では、三カ年計画で300名の技師育成を目標とし研修会を企画します。「日臨技精度保証施設認証制度」においては、41施設の認証を目標としています。さらに、公益事業の一つ「検査と健康展」は、愛臨技が主催で開催する予定です。

愛臨技の公益目的事業は、「精度の高い臨床検査を提供するための、専門的知識・技能の普及や人材育成」「医療関連施設への臨床検査精度向上の推進及び支援」「県民の健康増進と衛生思想に関する普及活動」を3本柱とし活動しています。役員一丸となってこの柱のもと技師会運営を推進し、今後の医療を担う臨床検査技師として、日々の学術研鑽はもとより、職業倫理を尊重し、社会の尊敬と信頼を得る活動を進めていきたいと思えます。

そして、技師会会員は近い将来女性会員が占める割合が約8割になると予想されます。今回の役員には、私を含め女性は4名となります。日臨技の女性部会で経験した男女共同参画について、愛臨技にも取り入れていきたいと考えています。

最後に、理事一同、新たな気持ちで出発します。会員の皆様にはこれからも愛臨技活動にご理解を賜り、ご支援頂きますようよろしくお願い申し上げます。

第15回 医学検査学会報告

学会長 山内 昭浩



第15回医学検査学会は、知多市勤労文化会館、知多市民体育館にて知多地区が担当で開催しました。テーマは「臨床検査をもっと身近に～顔の見える医療人を目指して～」として、私たちの仕事をもっと一般の方に知ってもらおうと思い、発表形式の他に臨床検査機器展と骨密度測定を行いました。知多市教育委員会の後援や広報した、中日新聞知多版への記事掲載のおかげで、のべ100名近くの参加がありました。学会参加者は612名と盛況の開催となりました。

一般演題

一般演題は、4会場で52題の発表が行なわれました。会場に入りきれないほどの盛況ぶりでした。活発な質疑応答がされ外の暑さに負けなくらいの熱気でした。

ランチョンセミナー

ランチョンセミナーは3社の協賛をいただきました。新しい臨床検査試薬の臨床応用などについて講演していただきました。

公開シンポジウム

学会のサブテーマである「顔の見える医療人になるために必要なこと」を題材にして3名のシンポジストに発表していただきました。

1. 「患者支援業務の意義と課題～検査相談室開設の経緯と取り組みについて～」

碧南市民病院 大坪 盛夫 技師

自治体病院改革プランの策定が検査相談窓口を作るきっかけになり、循環器内科、耳鼻咽喉科を中心として検査説明依頼が増えた経緯を説明していただきました。患者や病院スタッフから信頼される検査室の構築が必要と強調されました。

2. 「(一社)静臨技主催『けんさのひみつ展』の思惑～臨床検査技師の将来に向けた『自らの第1歩』～」

一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会

会長 横地 常広 技師

来場者数1551名の大盛況だったツインメッセ静岡で開催された「けんさのひみつ展」の企画から開催



一般演題



公開シンポジウム

までの表裏を紹介していただきました。検査室の壁から外に出る、次世代を担う若手技師の意識を変えるきっかけになればという強い思いが伝わる内容でした。

3. 「顔の見える医療人となるために必要なこと

～東日本大震災における医療支援を経験して～

愛知医科大学病院 森谷 裕司 技師

自施設のERでの活動、DMATとして被災地で活躍している姿、またJICA国際緊急援助隊医療チームでの経験を紹介していただきました。顔の見える関係を築くには、各自の役割を果たしチームの活動目標を達成するため連携を密にすることが大切であると報告されました。

公開講演

テーマ：「30年新10地－音楽と、皆さんと、－」

医療法人歯科ハミール 理事長 赤崎 知彦 先生

歯科医として患者様や家族と歩んできた足跡を軽妙なトークとピアノ演奏で伝えていただきました。舞台にはAlley Cats Bigbandのバンドメンバー 20名とともにジャズの最大の魅力であるアドリブを奏でていただきました。「人生は、アドリブの連続である」という言葉が印象に残るすてきな講演でした。



臨床検査機器展・骨密度測定

肝炎をテーマに血液、一般、臨床化学、免疫、遺伝子、生理、病理の分野毎のブースに分かれポスターと検査機器を使い、一般の方に検査説明をしました。白衣が床にするくらいのチビッコから大人まで興味を持って技師の言葉に耳を傾けてくれました。骨密度測定も合わせて100名を超える市民が集いました。



当学会の開催にあたり、御後援いただきました愛知県、愛知県医師会、愛知県病院協会、知多市、知多市教育委員会をはじめ、広告協賛、ランチオンセミナー協賛、協賛金、臨床検査機器貸与としてご協力をいただきました関連企業、賛助会員の皆様方に感謝申し上げます。また、ご多忙の中、業務終了後夜遅くまで運営会議の推進にご尽力いただきました実行委員、実務委員の皆様方に心より感謝申し上げます。

第15回愛知県医学検査学会・懇親会報告

実行委員 青木 岳史



2014年6月1日（日）第15回愛知県医学検査学会・懇親会が知多市勤労文化会館やまももホールにて開催されました。県南西部の端である知多での開催でしたが、実行委員の予想を超える135名に参加いただき大盛況となりました。松本会長の挨拶、賛助会員代表の(株)アークレイ マーケティング 榎原 伸二様による乾杯の発声の後、楽しい宴が始まりました。

ステージでは技師会員の有志3名によるジャズバンド演奏が始まり、宴は和やかな雰囲気になりました。



しばらくの歓談・会食の後、学術奨励賞と勤続30年の方々の表彰予定者からコメントいただいた後、第16回愛知県医学検査学会事務局長の山口育男技師（豊橋市民病院）より、次回の学会は『温故知新～新たな展開を求めて～』をテーマに開催する事を力強く宣言していただきました。

その後、会場はおおいに盛り上がり、ジャズ演奏の中、ひつまぶし、きしめん、お寿司、アイスクリーム、フルーツ盛合せ、お酒などを美味しくいただきました。種類豊富な料理とお酒に参加された方々にはご満足いただけたことでしょう。

終宴に差し掛かったところで、山内学会長より今回の学会にご協力いただいた方々への感謝と実行委員への労いの言葉をいただきました。楽しい時間は経ち、最後は一本締めで閉会となりました。今回ご参加いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、第16回愛知県医学検査学会への参加も是非宜しくお願い致します。



平成26年6月10日現在 会員数2,797名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。

原稿募集

会員の皆様の原稿を募集しています。
写真、豆知識、コーヒープレイクなどジャンルを問いません。
愛臨技事務所へメールでお送りください。



影山信雄先生を偲んで

当院（中京病院）の元検査部技師長、影山信雄先生は、平成26年5月7日、逝去されました。享年77歳でした。

影山先生は、尿酸の測定法であるウリカーゼ・カタラーゼ法の生みの親であり「影山法」はあまりにも有名です。先生のこの偉大な創製の原点は1966年の春、「酵母ウリカーゼ」との出会いだったと聞いています。その時のことを先生は「ウリカーゼはまるで雲母を細かく砕いたように銀色に美しく輝いていた」と話してくださいました。ただ、出会いがあってから完成までには幾つもの困難があったそうです。実験半ばで病気を患い、7か月も実験から遠ざかったこと、失敗が多く時間ばかりが費やされたこと、そんな苦難を乗り越え、実験を重ね改良を繰り返し完成した方法だったそうです。先生は常に

「毎日行っている数多い検査の中には改良しなければならないことがある。これを検討することこそ私たち臨床検査技師の研究であり、研究は日常検査に直結したものでなければならない」と教えてくださいました。本当に臨床検査技師らしい先生でした。

また、影山先生は、多くの栄誉を受けられました。昭和45年日臨技会長賞、昭和53年小島三郎記念技術賞、平成11年春の叙勲、平成12年愛臨技特別表彰などです。先生の栄誉は中京病院検査部ならびに病院の栄誉となりました。影山先生は小柄な方でしたが、バイタリテイに溢れ、いつもテキパキと動いていらっしゃいました。またお酒をこよなく愛し、陽気で朗らかな方でした。

これまでに賜ったご指導に対し、心より感謝をこめて哀悼の言葉といたします。影山先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。 合掌
JCHO中京病院 検査部技師長 進士 都



「世界禁煙デー」街頭キャンペーンに参加して

蒲郡市民病院 牧原 康乃

5月30日「世界禁煙デー・禁煙週間」街頭キャンペーンにボランティアとして参加しました。名駅ナナチャン人形に到着すると、すでに多くの団体がおそろいのカラーで身を包み、みなさんの意気込みが伝わってきました。私たち8名も背中に大きく「愛知県臨床検査技師会」と書かれた黄色のジャンパーに袖を通し、PRにいざ出陣…初めは緊張し、手を差し出し配布物を渡すのが精一杯でしたが、時間と共に「世界禁煙デーキャンペーンにご協力下さい」と声を出すことができ、笑顔で差し出せるようになりました。その一言から「ありがとう、御苦労さま」という温かい言葉も頂けました。また、「検査技師も配っているんだね」という声も聞こえ、認知度アップに貢献できた喜びも感じました。短時間のボランティアでしたが、とても良い経験となりました。ティッシュを配っている方の気持ちがわかったので、これからは快くいただこうと思います…。



みなさんも来年ボランティアに参加し世界禁煙に貢献しませんか？「オールジャパンでたばこの煙のない社会」を作りましょう。

第12回 スキルアップ講習会のご案内

主催：臨床一般検査研究会
共催：公益社団法人愛知県臨床検査技師会
専門教科：30点
日時：平成26年9月13日(土) 12:00～
平成26年9月14日(日)～15:15
場所：愛知医科大学
テーマ：臨床一般検査からのおもてなし
～あなたも明日からエキスパート～

1日目

- I. パネルディスカッション
～目指せCKD予備軍撲滅！CKD, CVD患者を尿沈渣から救え～
1) CKD病期における尿蛋白と尿沈渣所見との関連性
名古屋第一赤十字病院 浅井 祥之
2) CKDにおける各種円柱の動向から病態を推定し、治療に役立つ情報を発信する
鈴鹿医療科学大学 星 雅人
- II. 特別講演1
「多変量回帰分析による尿沈渣成績から推定される病態情報」
天理医療大学医療学部臨床検査学科教授 山西 八郎
- III. 特別講演2
「命を脅かす寄生虫症」
愛知医科大学感染・免疫学講座
免疫学・寄生虫学講師 角坂 照貴
- IV. ケーススタディプログラム
～尿&尿沈渣情報のさらなる上を目指す必須アイテム～
①各種疾患症例
倉敷中央病院 吉沢梨津好
②腎・尿路の感染症症例
天理よろず相談所病院 中村 彰宏
③異型細胞症例
東近江総合医療センター 佐伯 仁志
- V. 特別講演3
「高血圧患者における尿検査の重要性について」
東京大学医学部附属病院検査部講師 下澤 達雄
- VI. 教育講演1 (情報交換会と併せて開催)
「MedicalTechnology誌連載 尿沈渣をどう見るか①～⑫を有効活用するテクニック」
東海大学医学部附属病院 野崎 司

2日目

- VII. 教育講演2
「変形赤血球症例 IgA腎症について」
大阪大学医学部附属病院 堀田 真希
- VIII. 教育講演3
「髄液・体腔液細胞鏡検を有効な臨床情報とするための形態分析」
諏訪中央病院 保科ひづる
- IX. エクスパート実習 240分
～顕微鏡画像を説明できる技師の育成～
ディスカッション顕微鏡(olympus)による指導
①穿刺液実習
1) 初級 2) 中級 3) 上級の選択制
②寄生虫実習
③尿沈渣実習 1) 初級・中級コース 2) 上級コース 3) スペシャルコース 4) オプションコースの選択制
実習の詳しい内容につきましては、臨床一般検査研究会のホームページをご覧ください。
(<http://ippanken.web.fc2.com/>)
募集人数：100名
参加費：14,000円(但し、1日目のみ8,000円
2日目のみはなし)
情報交換会参加費：1000円(当日徴収)
是非ご参加ください。
交通手段：愛知医科大学HPでご確認ください。
駐車場有(有料)
申込方法：①氏名②施設名③住所④電話番号⑤技師会会員番号⑥一般検査経験年数⑦メールアドレス⑧穿刺液実習と尿沈渣実習の選択を記載し「スキルアップ申込書」として下記Eメールアドレスまで送信してください。
申込E-mail：ippanken@yahoo.co.jp
申込み締切：平成26年8月10日
連絡先：〒502-8511 岐阜市岩倉町3-36
岐阜赤十字病院 検査部 林 晃司
Tel 058-231-2266(内線2201)
(問合せは午後のみ)
- 注) 選択実習は実習室の都合上ご希望に沿えない場合があります。申込み先着順とさせていただきます。

愛知県臨床検査技師会
生涯教育認定登録団体研究会のご案内

第13回 西三河がんフォーラム

基礎教科：20点

日時：平成26年8月27日(水) 18:30～20:00

場所：安城更生病院 2階 講堂

テーマ：『最近の放射線治療～高精度照射から緩和医療まで～』

講師：愛知医科大学 放射線科 特任教授
河村 敏紀 先生

司会：安城更生病院 副院長 岡江 俊治

参加費：無料

内容：放射線治療は、レントゲン写真やCTなどの検査に使用するよりも強力な放射線を利用して病巣を治療する方法です。放射線は怖いものという観念がありますが、正しく使用すれば多くの悪性腫瘍(がん)や一部良性疾患において大変有効な治療法で、特に治療後も臓器機能を温存できる点が優れています。

今回は、愛知医科大学 放射線科 特任教授の河村敏紀先生に「最近の放射線治療～高精度照射から緩和医療まで～」と題し講演をいただき、西三河地区のがん診療に従事する医療者と共に放射線治療における知識を学びたいと思います。

第32回愛臨技 東三河地区研究会開催について

愛臨技東三河地区研究会を下記の要領で開催いたします。

ぜひ多数の方々に参加していただきたく、ご案内申し上げます。

専門教科：20点

日時：平成26年7月13日(日) 13時から17時

会場：豊川市民病院 1F講堂

住所：豊川市八幡町野路23番地

電話番号：0533-86-1111

内容：一般演題14題

公開講演「海洋楽のスズメ」～命の輝き～

講師：林 正道 先生

参加費：研究会 1,000円(抄録代含む)

懇親会 5,000円

懇親会：ブライダルステージシンフォニー 18時より

会長：豊川市民病院 臨床検査科 南條 明德

事務局：豊川市民病院 臨床検査科 永井 君子

〒442-8561 豊川市八幡町野路23番地

TEL 0533-86-1111

FAX 0533-89-5902

Email：h26higashimikawa@yahoo.co.jp

研究会

一般検査研究班

専門教科：20点

日時：平成26年8月3日(日) 10:00～15:40

場所：名古屋大学医学部基礎棟3F 第一講義室

(JR中央線鶴舞駅下車 名大病院口より徒歩3分)

テーマ：①「尿路結石の基礎と研究」

②「尿沈渣の基礎」

1) 尿沈渣作製方法

赤血球・白血球の見方

2) 上皮の見方

3) 円柱の見方

4) 結晶の見方

講師：①JA愛知厚生連 江南厚生病院

市川 潤

②「尿沈渣の基礎」

1) 名古屋第二赤十字病院 安土みゆき

2) 医療法人 青山病院 平田 基裕

3) 社会医療法人明陽会 成田記念病院

望月 里恵

4) 愛知医科大学病院

山口 京子

司会：①中京病院 宮地 英雄

②名古屋市立大学病院 阿部 臨

碧南市民病院 包原 久志

西知多医療厚生組合 東海市民病院

加藤 節子

社会医療法人宏潤会 大同病院

浅井 千春

参加費：500円

食事：各自でお願いします。病院の食堂は混雑が予想されますのでご注意ください。

内容：尿沈渣の基礎ついて1日かけて解説します。①メタボリックシンドローム環境下での尿路結石形成では、脂肪細胞と尿管上皮細胞との間に何らかの液性介在因子(パラクライン)が関与するとの仮説に基づいた研究を中心に尿路結石形成の基礎を解説していただきます。②尿沈渣の基本では、「尿沈渣検査法2010」にそって写真や症例を交えて解説していただきます。初心者からベテランの方まで多数の参加をお待ちしております。

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信
(第29回)

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物、「CBCの誤差要因と対策」についてご紹介いたします。

血液検査は自動血球分析装置を使用する際には、誤差要因の発生機序を理解し適切な対応をしなければならないです。そのため、これらの対策につきとても見やすくまとめられていますので、是非ご活用ください。今回は誤差要因と対策で、血小板の図5“血小板数測定時の注意点と誤差要因の対処法”を抜粋しました。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS : 愛知県臨床検査標準化協議会)

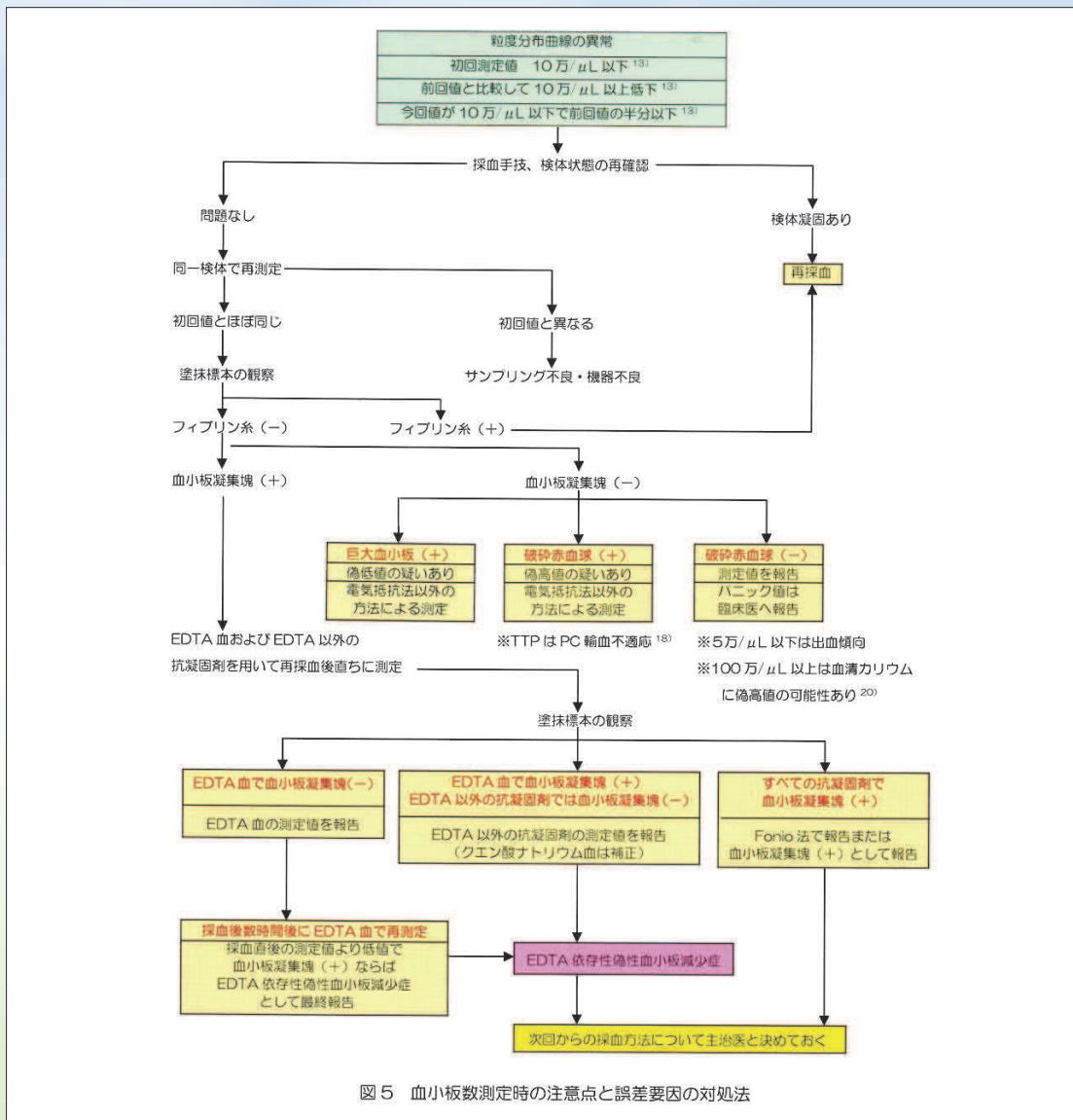


図5 血小板数測定時の注意点と誤差要因の対処法